

単元名

「発見ふるさと探検隊！」

～こんにゃくのおいしさを宣伝しよう～

本単元で育成する資質・能力

探究力・論理的思考力・メタ認知力・協働、合意形成意欲・共感的な態度・本質を志向する価値観

※なお、本校では、上記の資質・能力を児童及び教諭間で共有するために、次の名称を用いている。

自分事の問い追究力（探究力）、かんがえ力（論理的思考力）、ふりかえり力（メタ認知力）、みんなと解決したい気持ち（協働、合意形成意欲）、思いやりの心（共感的な態度）、するどい目（本質を志向する価値観）

1 単元の配置

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|----|---------------------|---|---|---|---|---|----|----|----|------------------------|---|---|
| 単元 | 地域を探検しよう(20時間) | | | | | | | | | こんにゃくのおいしさを宣伝しよう(20時間) | | |
| 元 | こんにゃくを育て、調べよう(30時間) | | | | | | | | | | | |

2 児童観

児童の資質・能力及び態度の実態を明らかにするために以下のアンケートを行った。

(1) 「学習方法に関すること」に対する実態

| 資質・能力 | 下位項目 | アンケート項目 | アンケート結果（4段階） | | | |
|-------|-----------|--|--------------|----|-----|----|
| | | | とても | やや | あまり | 全然 |
| スキル | 自分事の問い追究力 | ・授業を受けるとき、「なぜだろう」「やってみたい」と思っています。 | | | | |
| | かんがえ力 | ・授業では、自分の考えと理由を相手に分かりやすくなるように発表を工夫しています。 | | | | |

(2) 「自分自身に関すること」に対する実態

| 資質・能力 | 下位項目 | アンケート項目 | アンケート結果（4段階） | | | |
|------------|--------|---|--------------|----|-----|----|
| | | | とても | やや | あまり | 全然 |
| スキル | ふりかえり力 | ・学習の振り返りをするときは、「どこまでわかったか」や「学習の方法でうまくいったことや失敗したこと」などの理由を考えています。 | | | | |
| 価値観 倫理観 | するどい目 | ・授業では、「たぶんこうではないかな。」「こうすればできるのではないかな。」と考えています。 | | | | |

(3) 「他者や社会に関すること」に対する実態

| 資質・能力 | 下位項目 | アンケート項目 | アンケート結果（4段階） | | | |
|------------|--------------|--|--------------|----|-----|----|
| | | | とても | やや | あまり | 全然 |
| 意欲・態度 | みんなと解決したい気持ち | ・授業では、友達と話し合うなどして自分の考えを深めたり、広げたりしています。 | | | | |
| 価値観 倫理観 | 思いやりの心 | ・困っていたり、悲しんでいたり、辛そうにしていたりする人がいたら、「どうしたのかな?」「助けてあげたいな。」と思います。 | | | | |

この実態調査により児童は、「思いやり」の心をもっている児童が多いことが分かった。

反面、①ふりかえり力や②みんなと解決したい気持ちには、課題がみられた。①については、学習の振り返りをするときに「どこまでわかったか」や「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えること」ができていないことが分かった。また、②課題について自分の意見を伝え合うことで話し合いを深めていこうとする気持ちが弱いことが分かった。

3 単元観

(1) 本単元の学習の本質と児童のこれまでの学び

○ 人として生きることの一側面

生きるということには、生涯問い続けるという側面がある。生きる上で社会から投げかけられる多くの問いは、答えの無い問いである。社会からの問いかけを「自分事の問い」としてとらえ、この問いに対して「今ここ」で出さう自分の「応え」を出していかななくてはならない。そして「応え」た自分自身をも対象化して、また新たな問いが「この応えでよいのか。」と立ち上がる。この無限の問いかけに対し、諦めず応え続けることが、人として生きることの一側面である。

○ 本校の総合的な学習の時間の目標

地域の人や自然、社会とのかかわりを通して、「自分事の問い」を追究し、主体的・創造的・協働的に課題を解決しようとするとともに、身近な地域の様々な人とのかかわりを通して、地域に対する親しみと愛情を深め、自己の生き方を考えようとする。

本単元「発見！ふるさと探検隊」

○ 本単元で問われる生き方の本質的な問い

こんにやくのよさを知ってもらうには、どうすればよいだろう。

○ 本単元の目標

| 学習方法 | 自分自身 | 他者や社会 |
|--|---|---|
| 自分事の問い追究力 こんにやく作りをしたり、地域のこんにやく作り名人から話を聞いたりすることを通して、自分なりのこんにやく作りに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができる。 かんがえ力 集めた情報を比較、分類、関連付けて自分の考えをつくり効果的に表現することができる。 | ふりかえり力 自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができる。 するどい目 「神石高原町のこんにやくのよさを知ってもらうにはどうすればよいか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとする。 | みんなと解決したい気持ち 安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関われるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあおうとする。 思いやりの心 神石高原町のこんにやく作りに対する課題を知り、地域の歴史ある特産物を残し、よさをたくさんの人に知ってもらうためには、どうすればよいか考える。 |

学習材の魅力（学習材自体の価値や子どもにとっての魅力、GTの生き方）

本単元は、地域の特産物に着目して、地域のよさについて考える単元である。

地域のこんにやく作り名人との交流を通して、神石高原町のこんにやくの特徴や苦労、そしてそのおいしさについて知ったり、こんにやく農家の方の「神石高原町のこんにやくをたくさんの人に知ってほしい」という思いや、その実現に向けた悩みについて共に考えたり、神石高原町のこんにやくを地域の方々や協働して模索したりしていくことのできる単元である。

身近な食材であり、神石高原町の四仙人の1つであるこんにやくを取り上げることで、子どもたちが自分事として「こんにやくの秘密を知りたい。」「自分たちの住む神石高原町のこんにやくのおいしさをもっと知ってもらいたい。」という願いをもって活動することができる。と考える。

そうした願いを、実際に自分達の畑でこんにやくを手作りしたり、地域のこんにやく作りをされる名人にこんにやく作りを教えてもらったりして、よさを広めていきたいと考える気持ちを強めたい。こんにやくのおいしさを広めていくために自分達ができることを地域の人たちに提案するという機会を取り入れ、表現方法を工夫したより良い表現やアピールの工夫を目指す姿も期待できる。

ここ神石高原町のこんにやくのよさを宣伝していくために自分にできることは何かを考えることのできる意義深い学習材である。

4 指導観

(1) 児童の実態調査の課題を受けて、次の工夫を行う。

実態① ふりかえり力

①については、学習したことを全体で交流する場を設定する。自分の学びや友だちの学びでつながっていることや違っていることを見つけ、次の学習に生かすことができるように、おたずねや感想を伝え合わせる。

実態② みんなと解決したい気持ち

②については、神石高原町のこんにやくのおいしさやよさを広めるために、自分たちにできることがないか意見を交流したり、アドバイスし合ったりする。また、友だちが課題解決をする際に、困っていることを相談し、課題を解決していくための方法を出し合うことで、友だちの役に立ったり、協力してくれたりする気持ちよさを感じることができる

(2) 研究主題のかかわりから次の工夫を行う。

①「自分事の問い」をもたせ、追究させるために次の工夫を行う。

手立て①「自分事の問い」を見付けさせるために次の工夫を行う。

- ・神石高原町のこんにやく作りについての現状を農家の方から話を聞いたり、自分達で育てたこんにやくいもを使ってこんにやく作りをしたりすることで、こんにやくに対する思いをもたせ、解決するために何ができるか課題を見つけ、追究させていく。

手立て②「自分事の問い」を更新し、本質へ向かうために次の工夫を行う。

- ・振り返りの場を設定し、単元前半の児童の振り返りと後半の振り返りを比較する場を設定し、自己の成長や生き方の考えについてまとめさせる。

②「学び合い」のある単元展開にするために、次の工夫を行う。

手立て③「学び合い」の必要感・切実感をもたせるために次の工夫を行う。

- ・お世話になった方へのお礼の会を設定することで、学んできたことをまとめ、自分たちの発表にアドバイスを出し合ったり、おたずねをしたりして、学び合いの場を設定する。
- ・農家の方から、悩みや神石高原町のこんにやく生産の現状について話を聞かせてもらうことを通して、こんにやくのよさをたくさんの人に広めることはできないかという思いをもたせる。

手立て④「学び合い」の「おたずね」「かかわり」「納得探し」「自分の応え」の過程で次の工夫を行う。

- ・基調提案に対して「おたずね」や「かかわり」をすることを通して、神石高原町のこんにやくのよさを知ってもらうための自分の考えをより深めさせていく。

5 単元の評価規準

| 学習方法に関すること | 自分自身に関すること | 他者や社会に関すること |
|--|---|---|
| 自分事の問い追究力 こんにやく作りをしたり、地域のこんにやく作り名人から話を聞いたりすることを通して、自分なりのこんにやく作りに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができている。 かんがえ力 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり効果的に表現している。 | ふりかえり力 自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができている。 するどい目 「神石高原町のこんにやくのよさを知ってもらうにはどうすればよいか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとしている。 | みんなと解決したい気持ち 協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。 思いやりの心 神石高原町のこんにやく作りに対する課題を知り、地域の歴史ある特産物を残し、よさをたくさんの人に知ってもらうためには、どうすればよいか考えている。 |

6 単元の展開 (20 時間)

| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|--|---|---|---|
| <p>自分事 の 問 い の 設 定</p> | <p>1 神石高原町で作られるこんにゃくのおいしさを広めていくために、どんなことができそうか自分の課題を決める。(2時間)</p> <p>(1) 宣伝について知る。 (2) 個人経営の農家の方から生産や販売の苦労や工夫、働き甲斐などについて話を聞く。 (3) 農家の方の思いや願いとその達成に向けた課題を整理分析し、自分の課題を決める。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題：神石高原町のこんにゃくのおいしさを知ったね。でも、こんにゃくを作る人や量は、どんどん減っているみたいだね。こんにゃくのおいしさをもっとたくさんの人たちに知ってもらいたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>たくさんの人に知ってもらいたいから、たくさんの人が目にしやすいチラシやレシピ集を作って182ステーションに置くのはどうかな？</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・おいしさを伝えるための宣伝方法を考えるという視点で、自分たちにできることを考えるようにさせる。 ・農家の方に聞いたお話をもとに、こんにゃくを広めていく工夫を話し合う。 | <p>思いやりの心 神石高原町のこんにゃく作りに対する課題を知り、地域の歴史ある特産物を残し、よさをたくさんの人に知ってもらうためには、どうすればよいか考えている。 (発言・ノート)</p> <p>自分事への問い追究力 こんにゃく作りをしたり、地域のこんにゃく作り名人から話を聞いたりすることを通して、自分なりのこんにゃく作りに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができている。(発言・ノート)</p> |
| <p>情報 収 集</p> | <p>2 こんにゃくのおいしさを広めるという課題解決のために調べる内容や方法を考え、友達と協働して追究活動を行う。(4時間)</p> <p>(1) 宣伝の方法とその効果について、インターネットや書籍をもとに調べる。 (2) 全国のこんにゃくを使った料理を調べたり、こんにゃくの食品としての特徴を調べたりする。 (3) 他の食品や地域で行われている効果的な宣伝方法から、神石高原町のこんにゃくで使えそうな方法を見つける。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>チラシの宣伝方法について調べてみたら、たくさんの人に配ることができて、手元に残るものだということが分かりました。チラシを作るのにかかるお金やどこで配るかを詳しく考えてみたいな。 神石のこんにゃくは、手作りでやわらかくて、マンナンという成分がたくさん含まれていておいしいから、そのよさが伝わる宣伝方法を工夫していきたいな。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝活動を成功させるための計画を立てさせる。 ・手作りこんにゃくの味やこんにゃくができるまでの手間を経験することで、神石高原町のこんにゃくのおいしさを再度実感させ、こんにゃくのおいしさを伝えたいという思いを高めさせる。 | <p>みんなと解決したい気持ち 協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見つけて、自分や相手の考えを深めあったりしようとしている。(発言・ノート)</p> <p>かんがえ力 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり表現している。(発言・ノート)</p> |

| | | | |
|--|--|--|---|
| <p>整理・分析</p> | <p>3 情報収集過程で集めた資料をもとに整理・分析し、自分たちにできることを考えまとめる。(4時間) (1) 集めた情報を整理・分析し、自分たちの追究や考えの検討や考えの見直しをする。 (2) それぞれが考えた宣伝方法がうまくいくか、試作をし、改善方法を出し合う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・試作をしたり、他学年に試食してもらい、アイデアについての意見を出し合ったり、意見をもらったりして、改善させる。 ・自分たちが考えていることに自信をもったり、直した方がいいことが分かったりすることで、成功している宣伝法のよさに着目することができるようにする。 | <p>かんがえ力 集めた情報を比較、分類、関連付けし自分の考えをつくり表現している。(発言・ノート)</p> |
| <p>○オリジナルこんにゃくレシピ集を作って、182ステーションやゆっくらに置いてもらいたいな。 ○こんにゃく作り体験ができる会を考えたいな。 ○パンフレットを作って役場や公民館に置いてもらおう。</p> | | | |
| <p>まとめ・創造・表現</p> | <p>4 こんにゃくのおいしさを広めるためのアイデア提案会をする。(3時間) (1) 友達と協働して伝える工夫を話し合い、自分たちの考えをまとめ、表現する。(本時) (2) アイデア提案会を開く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自分たちが考えたアイデアを実際に試食してもらったり、見てもらったりすることができるようにさせる。 | <p>かんがえ力 自分の考えを効果的に表現している。(発言・ノート) するどい目 「神石高原町のこんにゃくのよさを知ってもらうにはどうすればよいか」という問いや自分の問いに対して、自分なりの「応え」を見付けようとしている。</p> |
| <p>自分たちが考えたアイデアを提案して、アドバイスをもらうことができよかつたな。これから、182ステーションやゆっくらにお願いができるように準備をしていきたい。</p> | | | |
| <p>実行</p> | <p>5 自分達の考えた宣伝方法を実践する。(5時間) (1) 計画をする。 (2) 自分の考えた宣伝方法を扱ってもらうためのお願いをする。 (3) 経過報告を聞き、改善できることを話し合う。 (4) 宣伝の結果を収集する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になったこんにゃく作り名人や地域のこんにゃく農家と連携をとり、意見やアドバイスをもらうことができるようにする。 ・発表する際の方法と発表方法のメリット・デメリットを知らせる。 ・発表で使う掲示物を作成させる。 | <p>自分事の問いの追究力 こんにゃく作りをしたり、地域のこんにゃく作り名人から話を聞いたりすることを通して、自分なりのこんにゃく作りに対する思いや願いをもち、必要な情報を収集・分析し、課題解決を目指して探究することができている。 みんなと解決したい気持ち 協力して作業をしたり、安易に友達の意見に流されず、相手の発言の関わるところを見付けて、自分や相手の考えを深めあつたりしよう</p> |
| <p>自分達のアイデアに協力してもらうことができた。もっとこんにゃくのおいしさを知ってもらうことができたようでうれしいな。</p> | | | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| | | | <p>としている。(発言・ノート)</p> <p>かんがえ力</p> <p>自分の考えを効果的に表現している。(発言・ノート)</p> |
| <p>振り返り</p> | <p>6 今後の取組について考える。自分たちの生き方を振り返る。(2時間)</p> <p>(1) 宣伝方法の効果や自分達の頑張りを振り返る。</p> | <p>・単元の始めの頃の振り返りを想起させて、今の考えと比較させ、自分の成長を確かめる材料とする。</p> | <p>ふりかえり力</p> <p>自分の学び方の成長や学んだ事の自分にとっての意味、学んだことどうしの関わりについて振り返ることができている。</p> <p>(発言・ノート)</p> |
| <p>神石高原町のこんにやくのよさがもっとたくさんの人たちに広まっていったら、私達も嬉しいし、地域の人たちも喜んでくれると思うな。</p> <p>神石高原町のよいところを、まずは自分達が詳しく知ると、色々なアイデアが出てきたね。</p> <p>実際に宣伝するためには、準備や計画を立てたり、準備をしたりと大変なことがたくさんあったけど、提案ができて、たくさんの人に知ってもらえるように活動できたからよかったよ。</p> | | | |

| | | | |
|-----|--|---|--|
| 22分 | <p>3 振り返る。</p> <p>T：今の話し合いの中で、レシピをおくと起こる「よいこと」が何かを考えておたずねしていましたね。とてもいいおたずねだと思ったのですが、どうしてそういうおたずねをするといいか分かりますか。</p> <p>C：いろんなアイデアがあるけど、「よいこと」が起こらなかつたら、やる意味がないし、そのおかげで、スーパーの時と一緒にということが分かりました。</p> <p>T：なるほど。では自分のアイデアは、「よいこと」が起こるのでしょうか。振り返ってみてください。</p> <p>C：私は、レシピを置いておけばよいと思ったけど、どんな「よいこと」が起こるか考えていませんでした。これから、レシピの見た目も工夫してこんにやくを買ってくれるようにしたいと思います。でも、お金のことは考えていなかったの、これから何円かかるか調べてみたいと思います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・取組を行うと起こる「よいこと」に着目していることを評価し、その効果を考えさせる。 ・自分達の提案を「よいこと」が起こるかという視点で振り返らせる。 | <p>するどい目</p> <p>神石高原町のこんにやくのよさを知ってもらうにはどうすればよいか」という問いを意識し、自分の考えた取組に効果があるかどうかを見付けようとしている。(ノート)</p> |
|-----|--|---|--|

8 板書計画

